

空き町家 よみがえらせる



フラットエージェンシー社長 吉田創一さん 38 京都市北区

京都市内で空き家となった町家を改修し、再活用する事業に取り組む。ギャラリーや美容室、土産物店など、これまでに手がけた物件は約200軒。古都の歴史的景観を守

りつつ、現代のニーズに合った京町家を生み出している。地元の大学を卒業し、大手住宅販売会社で4年間、営業の仕事を経験。その後、父親が創業した不動産仲介会社に入社し、昨夏から社長を務める。

「単に空き家を仲介するだけでなく、地域活性や起業支援につなげたい」。そんな思いから今年4月、築80年の空き町家を、1階が飲食店、2階が外国人旅行者向けの宿泊施設という新たなスタイル

の町家によみがえらせた。

2階の天井には太さ50センチほどの梁を見せて「和」の雰囲気を残す一方、浴槽は設けず、シャワーのみとした。「近所には古い銭湯がいくつもある。そこを利用することで地域との交流が生まれる」と意図を明かす。

京都市内には約5000軒の空き町家があるとされるが、老朽化や所有者の高齢化などで売却、解体され、マンション用地などに充てられる例は少なくない。「京都らしい街並みを残し、付加価値の高い町家を手がけていきたい」。これからも、人と街とを仲介していく。